

2025年3月期第2四半期 決算説明会

2024年11月28日

株式会社日本ケアサプライ

東証スタンダード 2393

1 決算ハイライト（2025年3月期第2四半期決算）

2 今期の取組みと通期業績予想

1 決算ハイライト（2025年3月期第2四半期決算）

2 今期の取組みと通期業績予想

中期経営計画の最終年度として
引続き、福祉用具サービスの更なる強化
高齢者生活支援サービスは社会課題への対応を推進

■ 福祉用具サービス

- ・ 人員の採用や育成の強化、レンタル資産の積極的な投入を継続
- ・ 拠点展開では、都市部を中心に新規開設や既存拠点大型化を継続

■ 高齢者生活支援サービス

- ・ 「バランス弁当」の商品ラインアップの拡充を推進

■ その他

- ・ 従業員へのインセンティブプランとして、自己株式を活用したESOP信託を採用し、人的資本投資を強化

2025年3月期第2四半期の決算ハイライト（前年同期比）



福祉用具サービスが堅調に推移し、前年同期比は増収増益

（百万円）

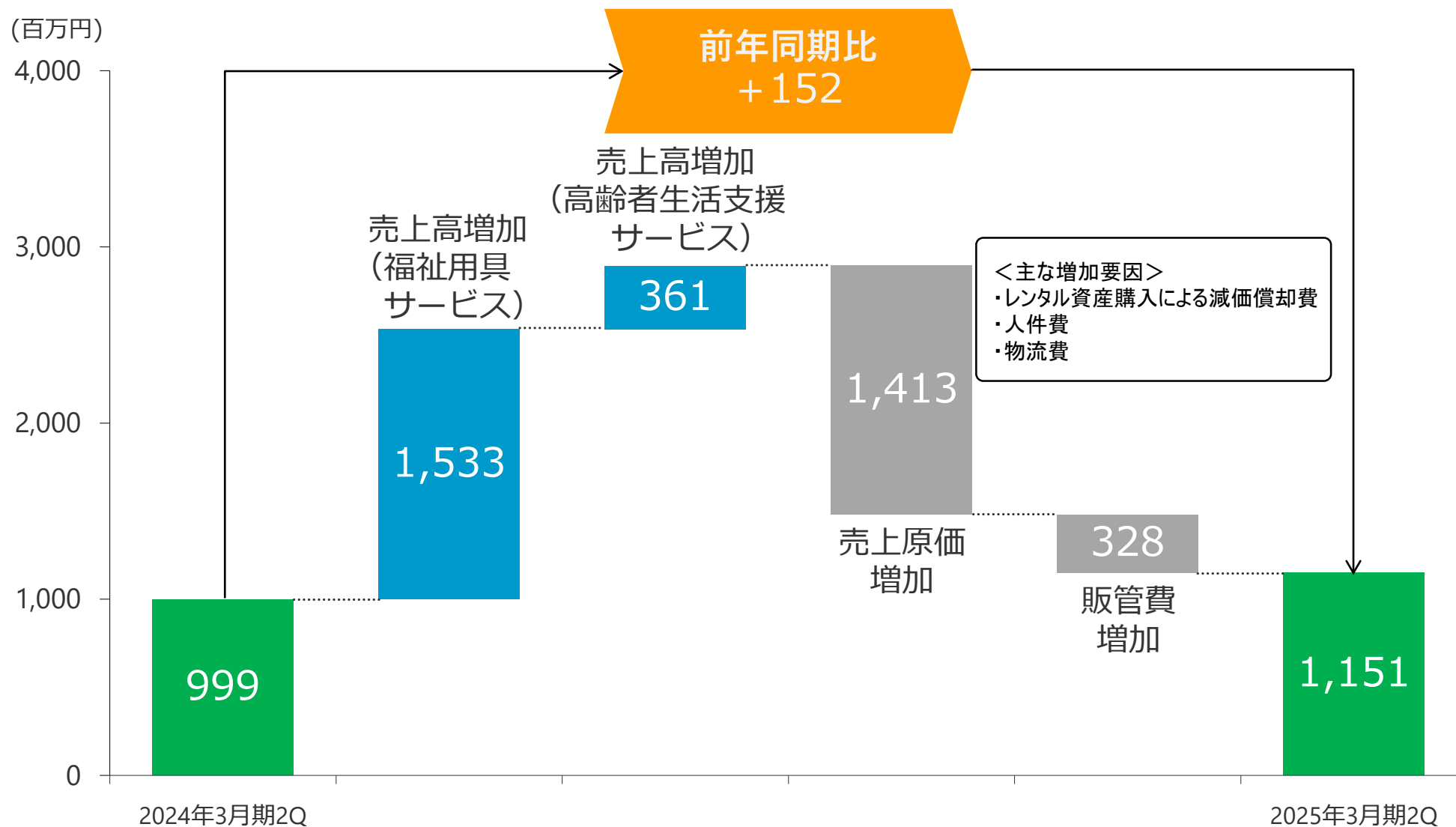
	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	13,779	15,673	1,894	+13.7%
営業利益	999	1,151	152	+15.2%
経常利益	1,012	1,170	157	+15.6%
純利益※1	681	776	95	+14.0%
EBITDA※2	3,981	4,624	643	+16.2%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 経常利益＋支払利息＋減価償却費

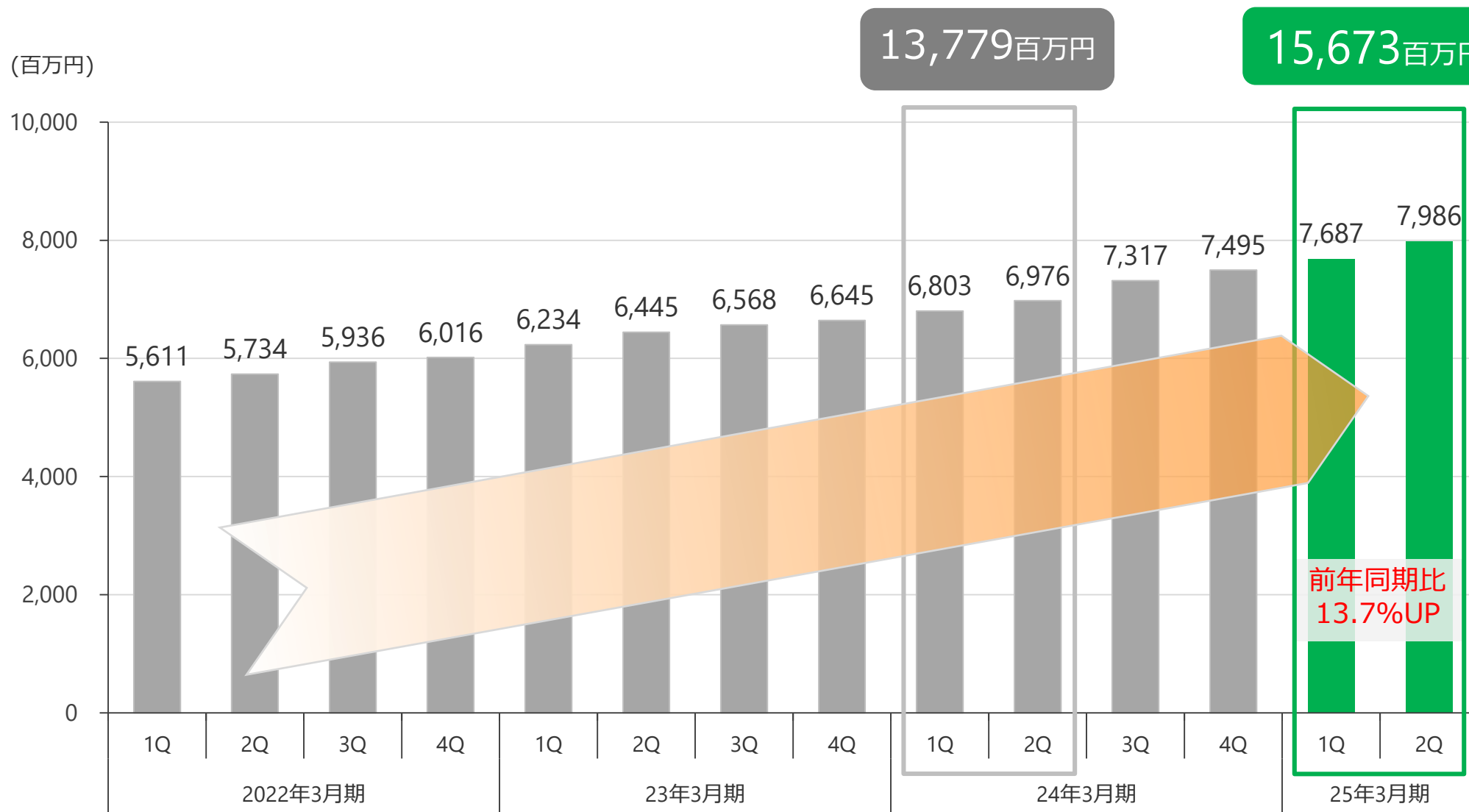
連結営業利益の増減要因（前年同期比）

増収効果により増益



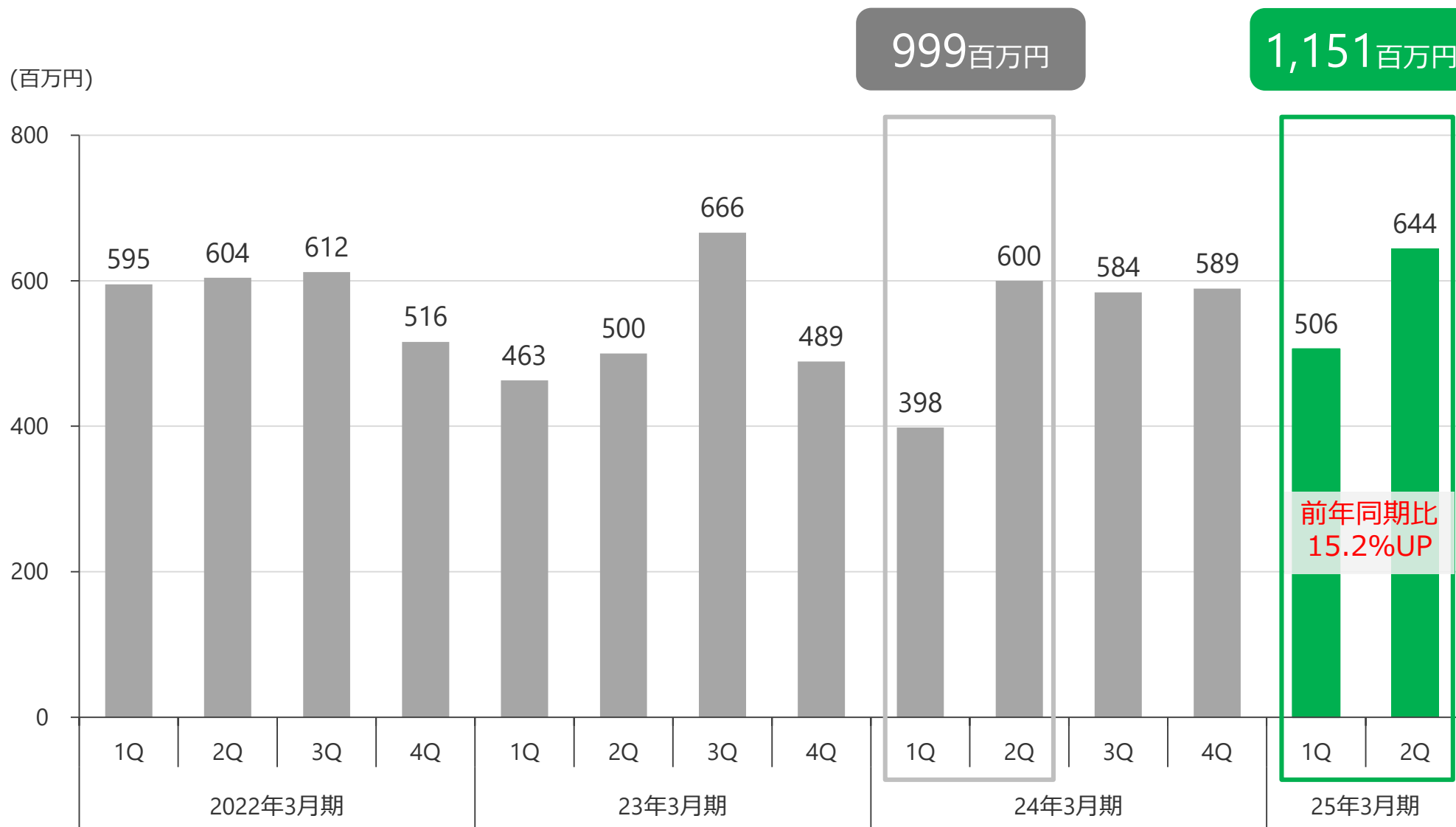
連結売上高の推移（四半期）

売上高は9年連続で過去最高を更新

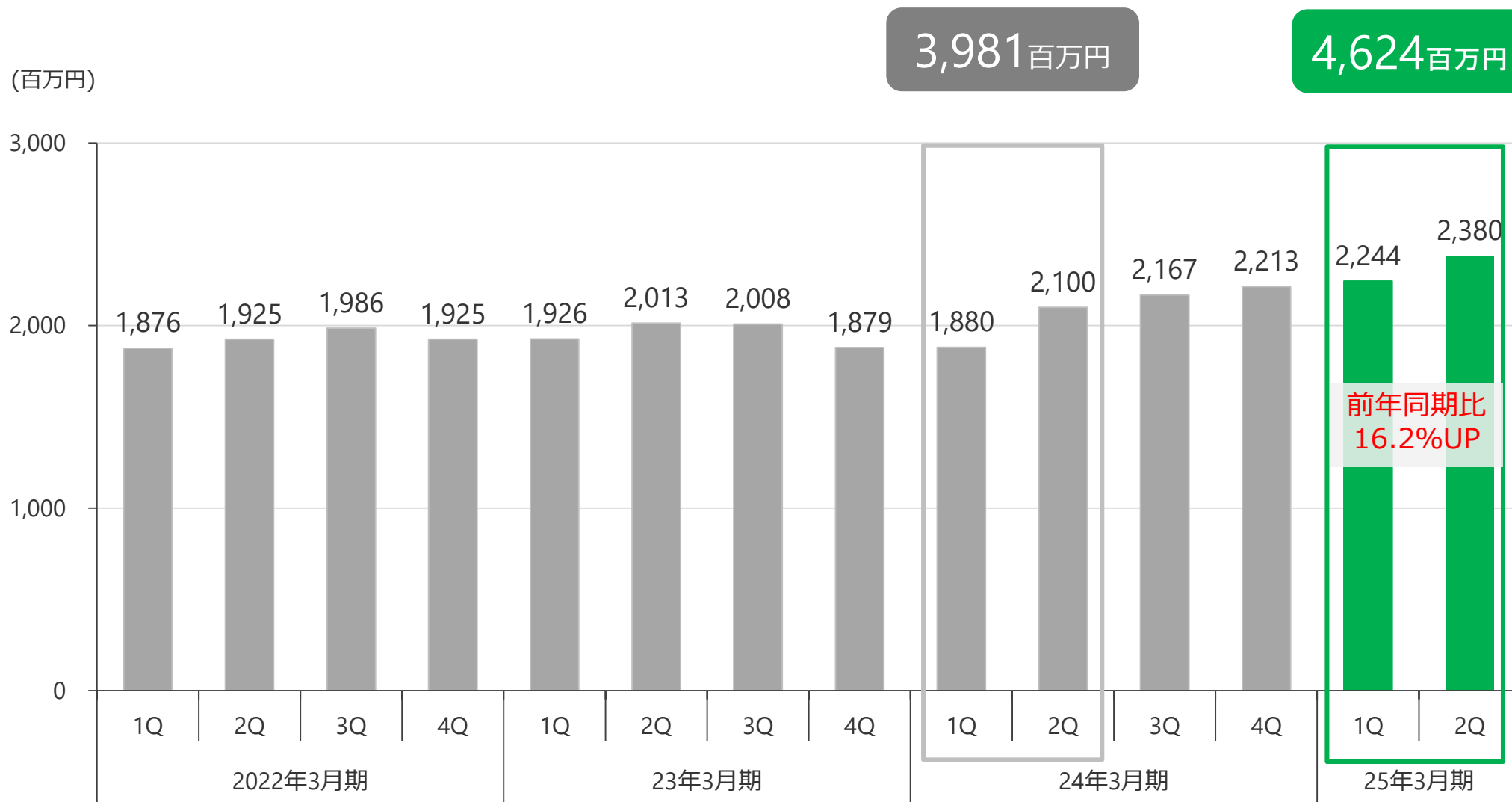


連結営業利益の推移（四半期）

継続して安定した利益を確保



EBITDAの推移は着実に向上



※経常利益 + 支払利息 + 減価償却費

連結貸借対照表（前期末比）

資産では、主にレンタル資産や拠点開発への投資が増加
負債では、主に短期借入金が増加

（百万円）

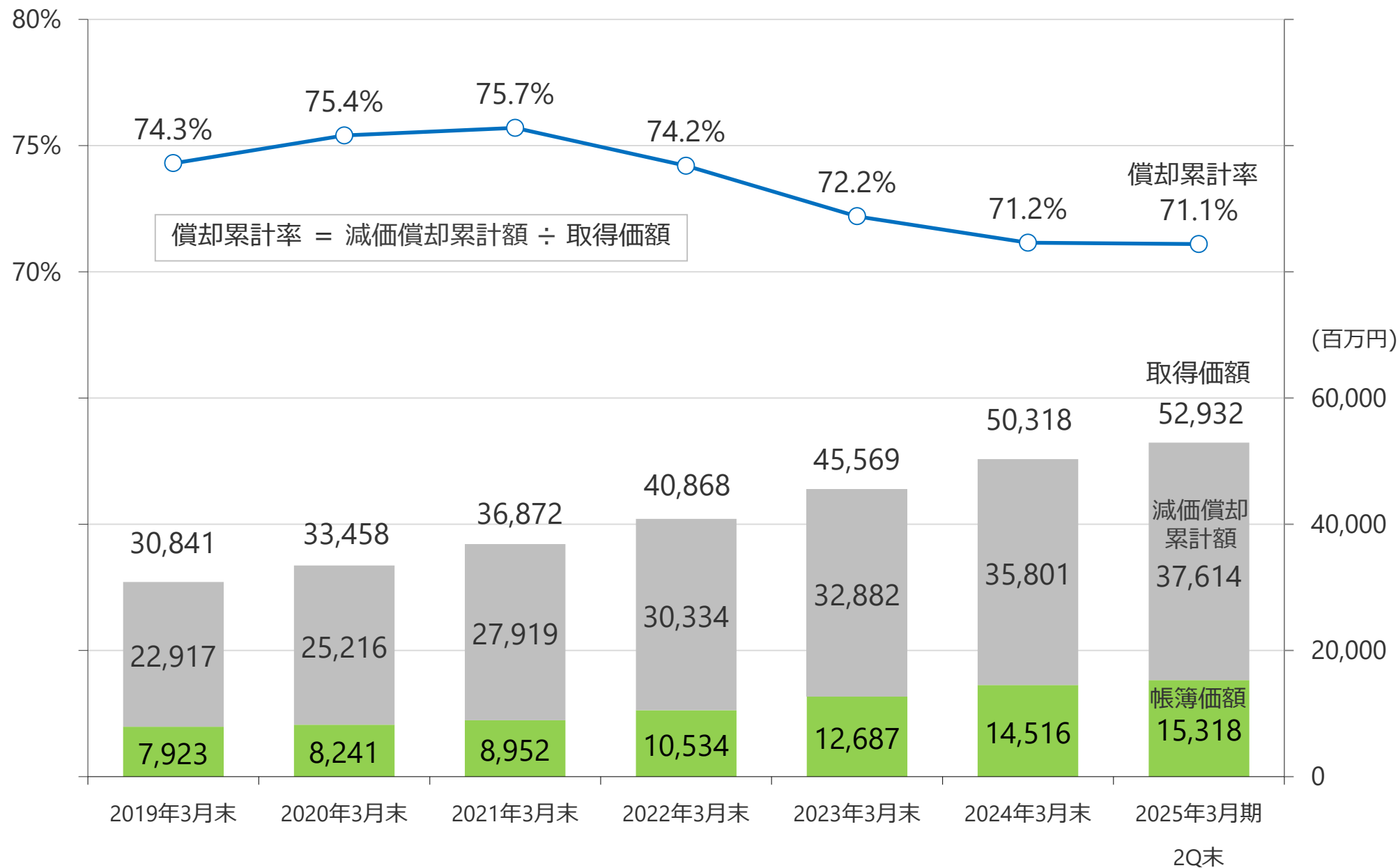
	2024年3月期末	2025年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	5,760	5,647	▲113
固定資産	19,641	20,809	1,168
（うちレンタル資産）	14,516	15,318	801
資産合計	25,401	26,456	1,055
負債合計	8,853	10,204	1,350
純資産合計	16,547	16,252	▲295
負債純資産合計	25,401	26,456	1,055

連結キャッシュ・フロー（前年同期比）

（百万円）

	2024年3月期 第2四半期累計	2025年3月期 第2四半期累計	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	1,491	711	▲779
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲59	53	113
（うち減価償却費）	2,966	3,448	481
（うちレンタル資産の取得による支出）	▲3,854	▲4,080	▲226
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲281	▲743	▲461
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲487	661	1,149
現金及び現金同等物の期末残高	663	683	20

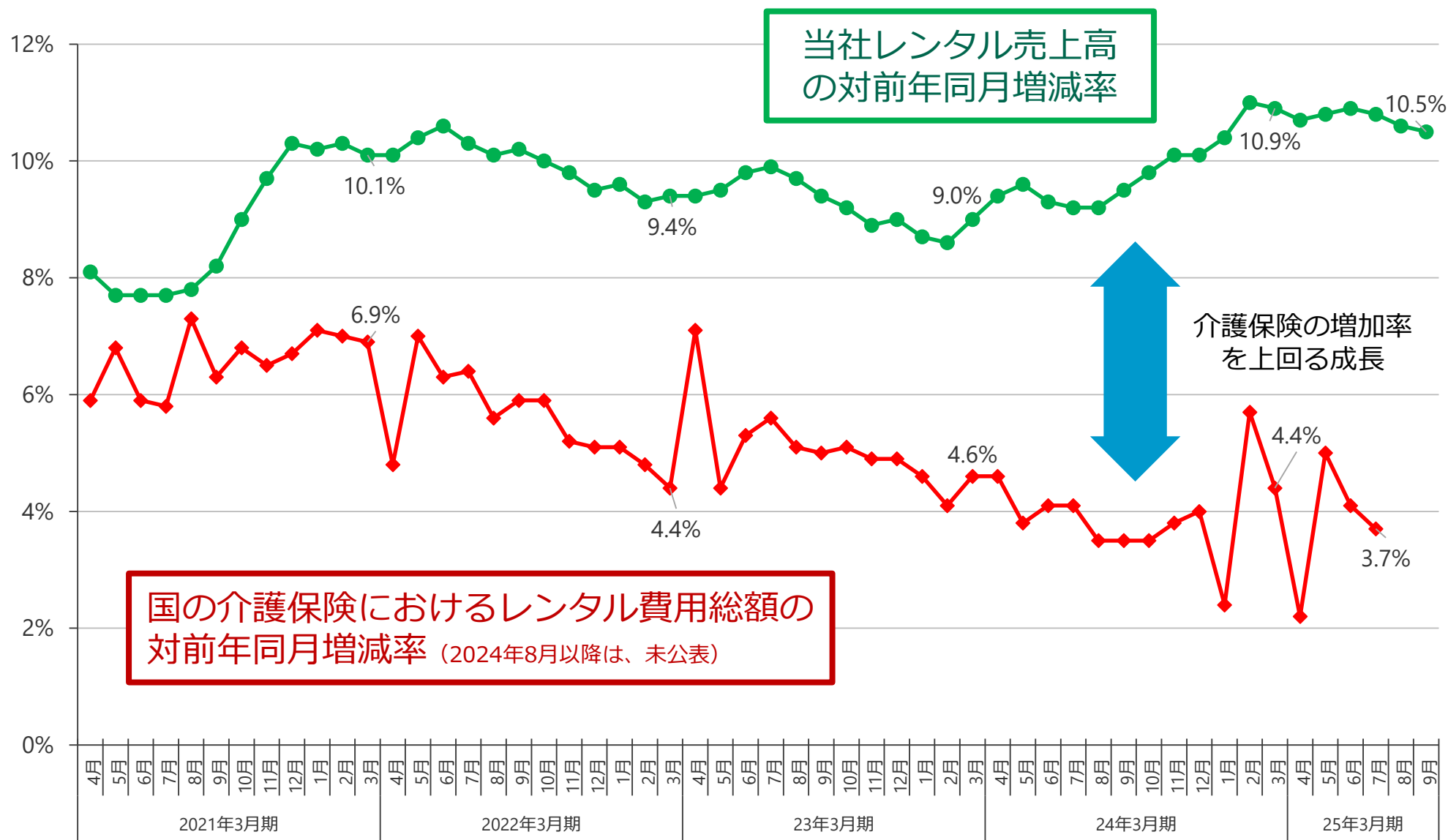
レンタル資産の保有状況の推移



1 決算ハイライト (2025年3月期第2四半期決算)

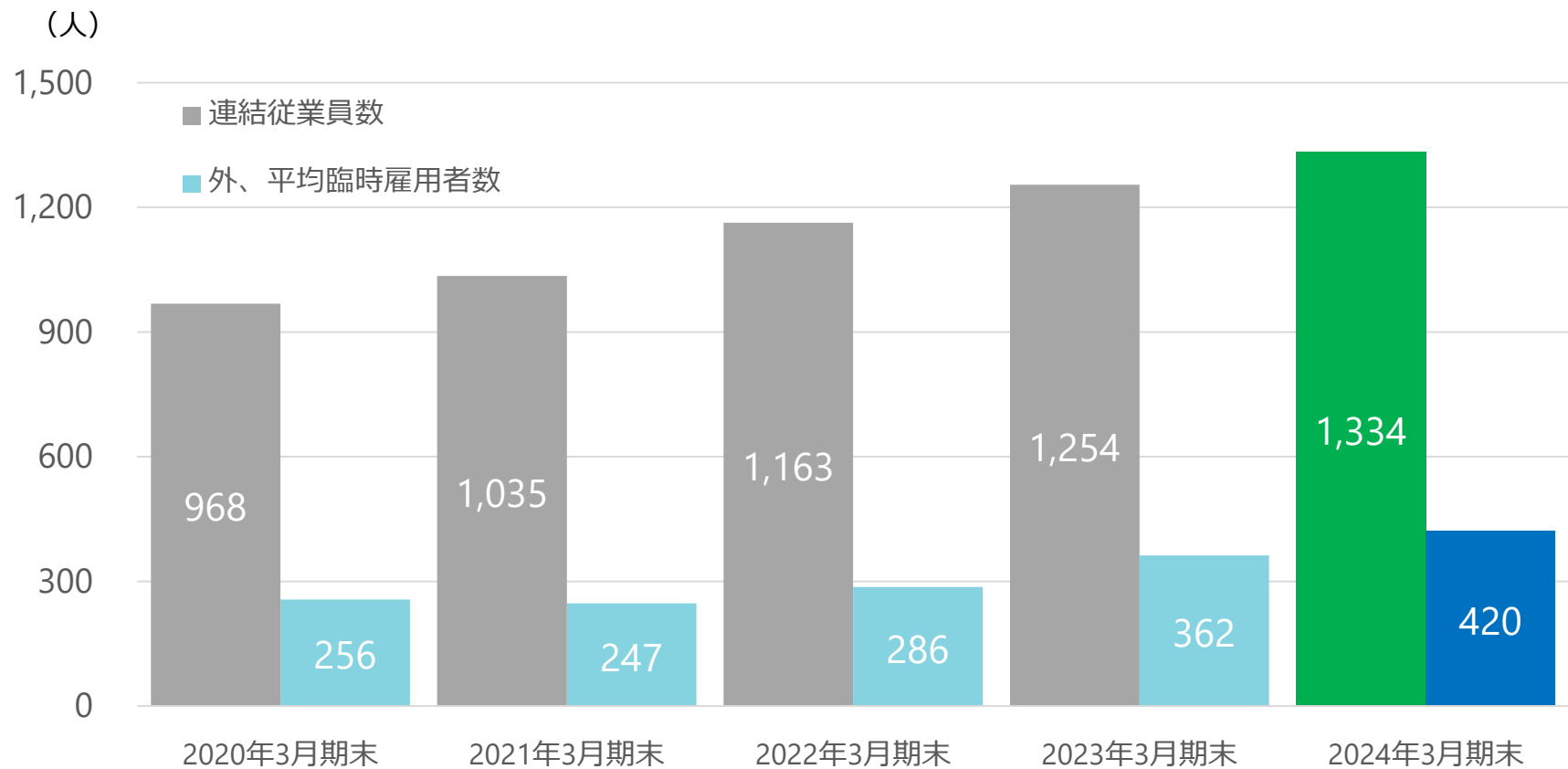
2 今期の取組みと通期業績予想

介護保険の福祉用具レンタル需要を上回る成長率



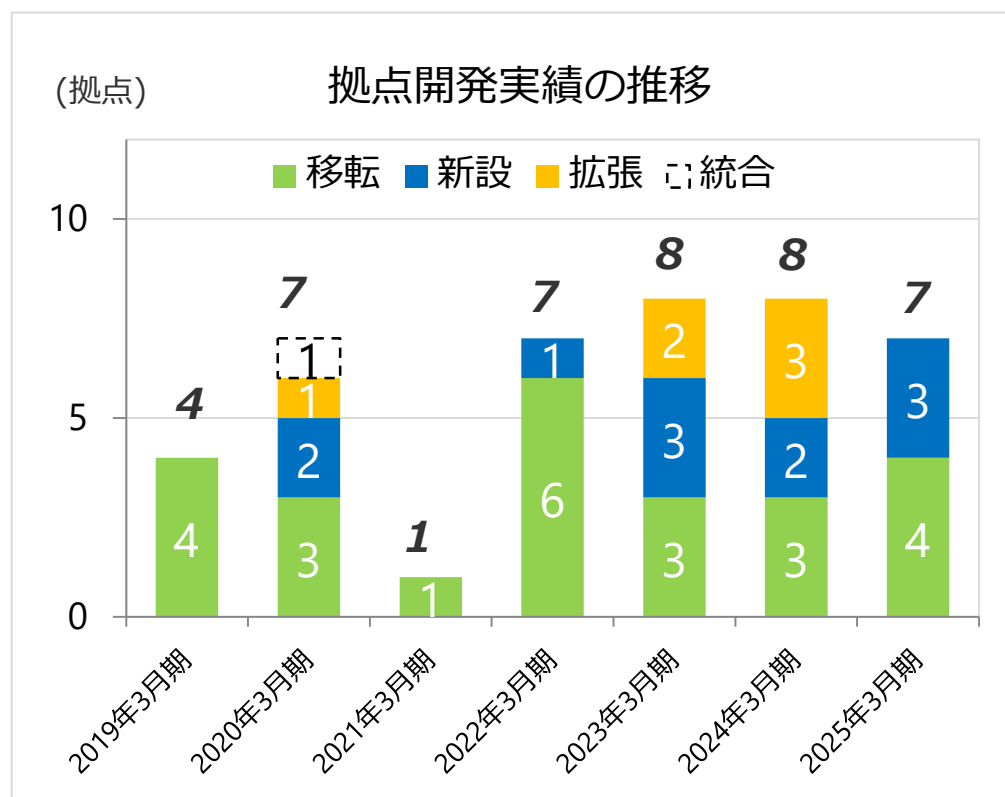
出所：(公)国民健康保険中央会資料より当社作成

業績拡大に伴い、従業員数は増加
人材の採用・育成の強化を推進



都市部を中心に営業拠点の拡充を継続

- ・ 新規開設による都市部の需要増加に対応
- ・ 拠点大型化（移転・拡張）による倉庫作業の効率化



【2025年3月期の拠点開発】

2024年	4月	栃木営業所	移転
	7月	川口営業所	新設
	7月	北見ステーション	移転
	7月	新潟営業所	移転
	10月	酒田ステーション	新設
	11月	横浜中央ステーション*	移転
	11月	大阪北摂営業所	新設

*移転後に名称を「新横浜営業所」に変更

2024年11月末時点の営業拠点数 97か所

介護サービスの質の向上、効率化をお手伝いするWEBサイト 「グリーンケア フォーラム プレミアム」を提供

point 1

介護サービス
事業者向け

法 定 研 修

高齢者虐待、身体拘束、認知症対応を含む、
運営基準で実施が義務化されているすべてを網羅！

※居宅介護支援の更新研修は含んでおりません。

point 2

オンデマンド **スキルアップセミナー**

運営指導対策・医療 DX・カスタマーハラスメント対策 etc...
最新情報が100本以上！

point 3

業務効率化 **支援ツール**

年間研修計画作成支援、状態像マトリクスツール、
受講証明、実施チェックリスト etc...
業務効率アップに役立つツールが満載！
設置された委員会をご支援いたします！

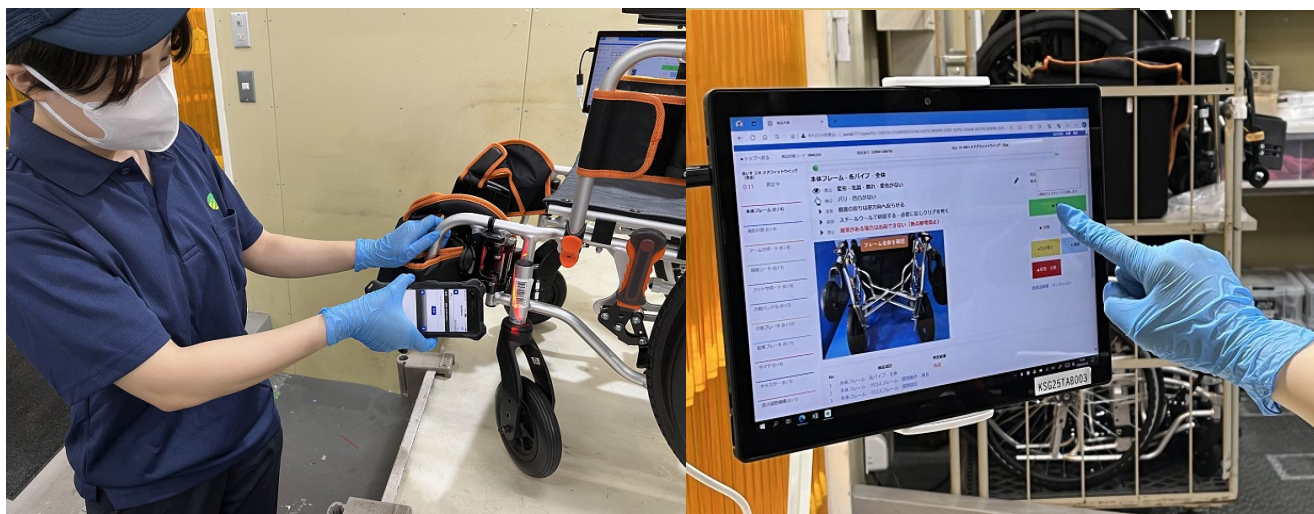
グリーンケア フォーラム
プレミアムプラン 開始！！
介護サービスの **質向上** と **効率化** をお手伝いします！



**GREEN
CARE
FORUM**

業務効率化や資産管理の高度化のための 業務システムを独自に開発し、機能を向上

- IT工程管理システム（動画による作業工程を管理する仕組み）の導入により出荷・検品工程が可視化され、品質向上につながる。
- スタッフへの教育・研修にも、有効な手段として活用。



▲倉庫内作業イメージ

病院・介護施設の食事提供の場面で業務を大幅に省力化
味と食べやすさでご利用者に笑顔をお届け

商品ラインアップの拡充
全160種以上（2024年6月現在）

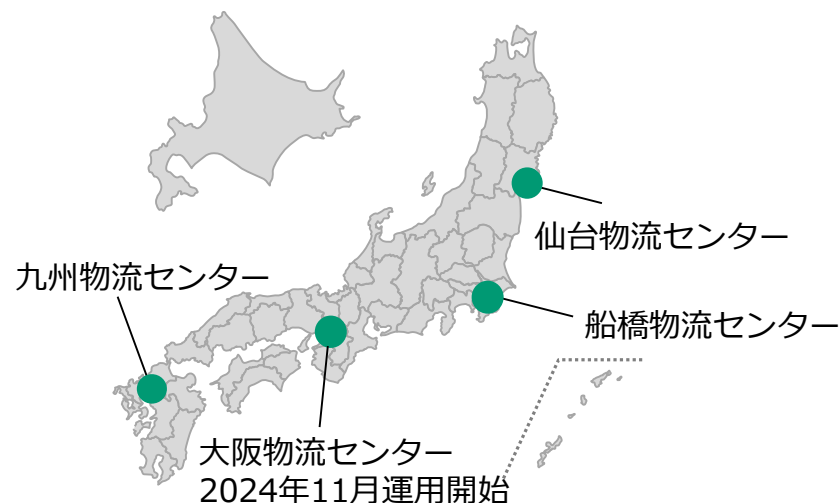
事業拡大を見据えた物流倉庫の
設置により配送コストを削減



▲メニューの一例
「ひれかつ&オムレツ」



▲「バランス弁当」カタログ



▲外部委託による物流倉庫を設置

おむつメーカー大手のリブドゥコーポレーション と共同でサービス提供

最適なおむつとモレない安心感を・・・

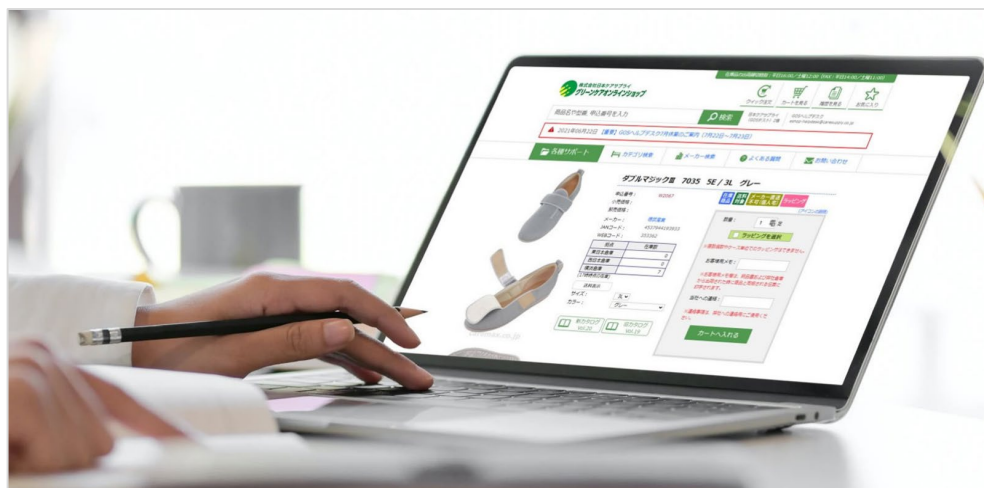


- メーカーの専門家によるおむつ選定やフィッティングを活用することでおむつ漏れ改善
- メーカー直送により、ご利用者宅のおむつ切れ防止や買い物の手間を軽減
- 介護事業者は、介護保険外の新たなサービスとしての取り組み

高齢者のご家族を支えるために厳選した福祉用具と生活関連商品を取り揃えた、事業者向けECサイト「グリーンケアオンラインショップ」

- ・ 20万アイテムを超える充実した品揃え
- ・ 在庫商品は、平日16時までのご注文で当日出荷

ヘルプデスクが丁寧にサポート

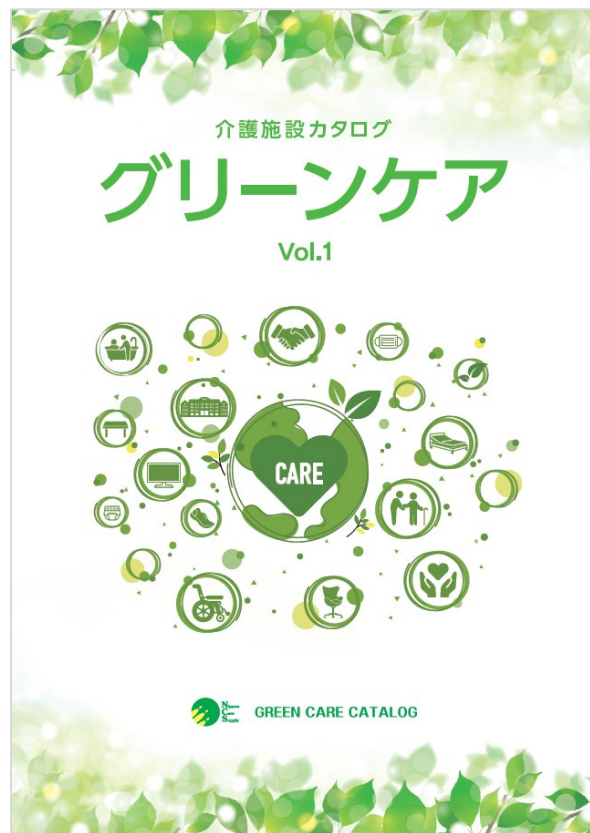


▲パソコンからの注文画面イメージ



▲問合対応のイメージ

相互の販売拠点網や顧客基盤を活用した 商品・サービスの拡販を推進



▲介護施設向けカタログ



＜施設向け家具＞



＜特殊浴槽＞



▲施設向け商材の一例

様々なステークホルダーとの協働により 持続可能な社会の実現に貢献

■サステナビリティ基本方針

私たちは、社是である「健康長寿社会への貢献」を存在意義と定め、ステークホルダーの皆様との協働により、豊かな暮らしに役立つ商品やサービスの提供によって、社会課題の解決に挑みます。

そして、新しい価値の創造と健全な事業活動を通じて、中長期的な企業価値向上を追求し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。



■マテリアリティ（重要課題）

①安心で豊かな健康長寿社会への貢献



③働く環境の整備と社員成長への取組み



②気候変動、循環型社会への貢献

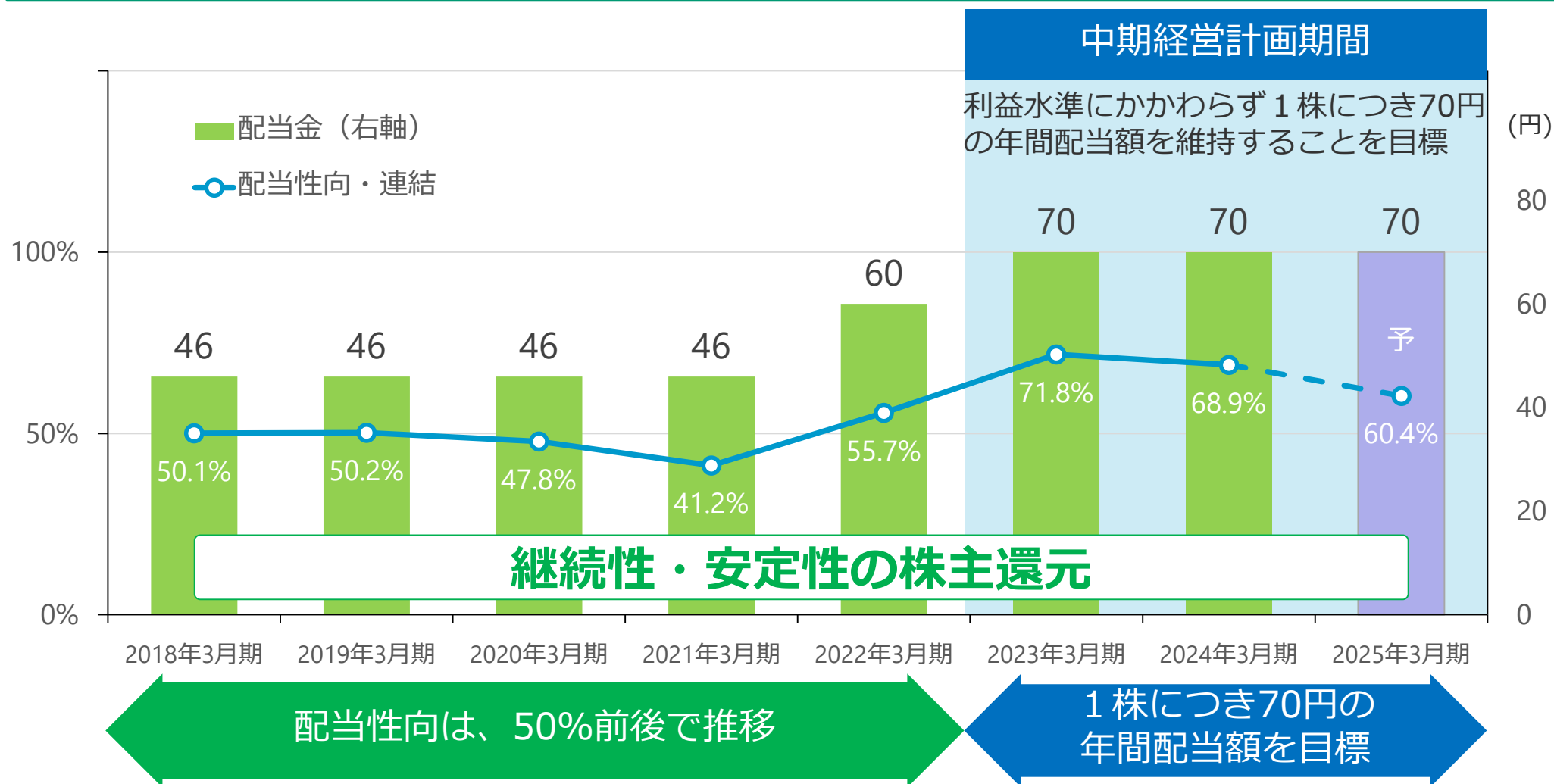


④企業ガバナンスの高度化への取組み

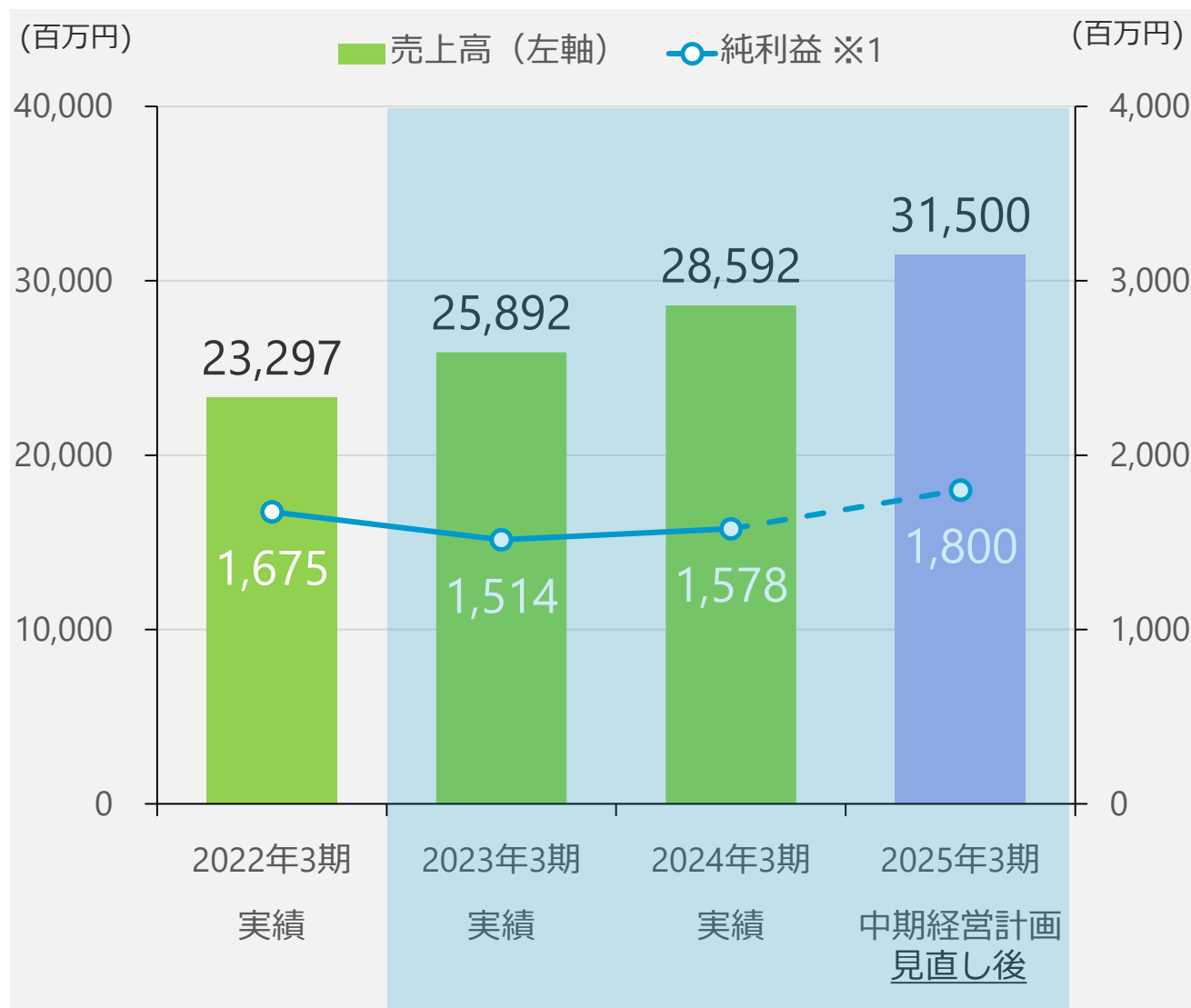


株主還元方針

株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付けており、業績に対応した配当を行うこと、また、業容拡大を図るため設備投資を積極的に行うなど事業基盤を強化する観点から、内部留保を充実させることも併せて勘案したうえで、配当を決定することを基本方針とする。



中期経営計画の目指す経営指標



中期経営計画期間

見直し後
中期経営計画
連結業績目標

売上高 **315** 億円

純利益※1 **18** 億円

ROE※2 **10.6** %

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 自己資本当期純利益率

中期経営計画の目標数値見直しについては、
2024年5月8日付の決算補足説明資料にて公表

売上高は、福祉用具サービスが堅調に推移

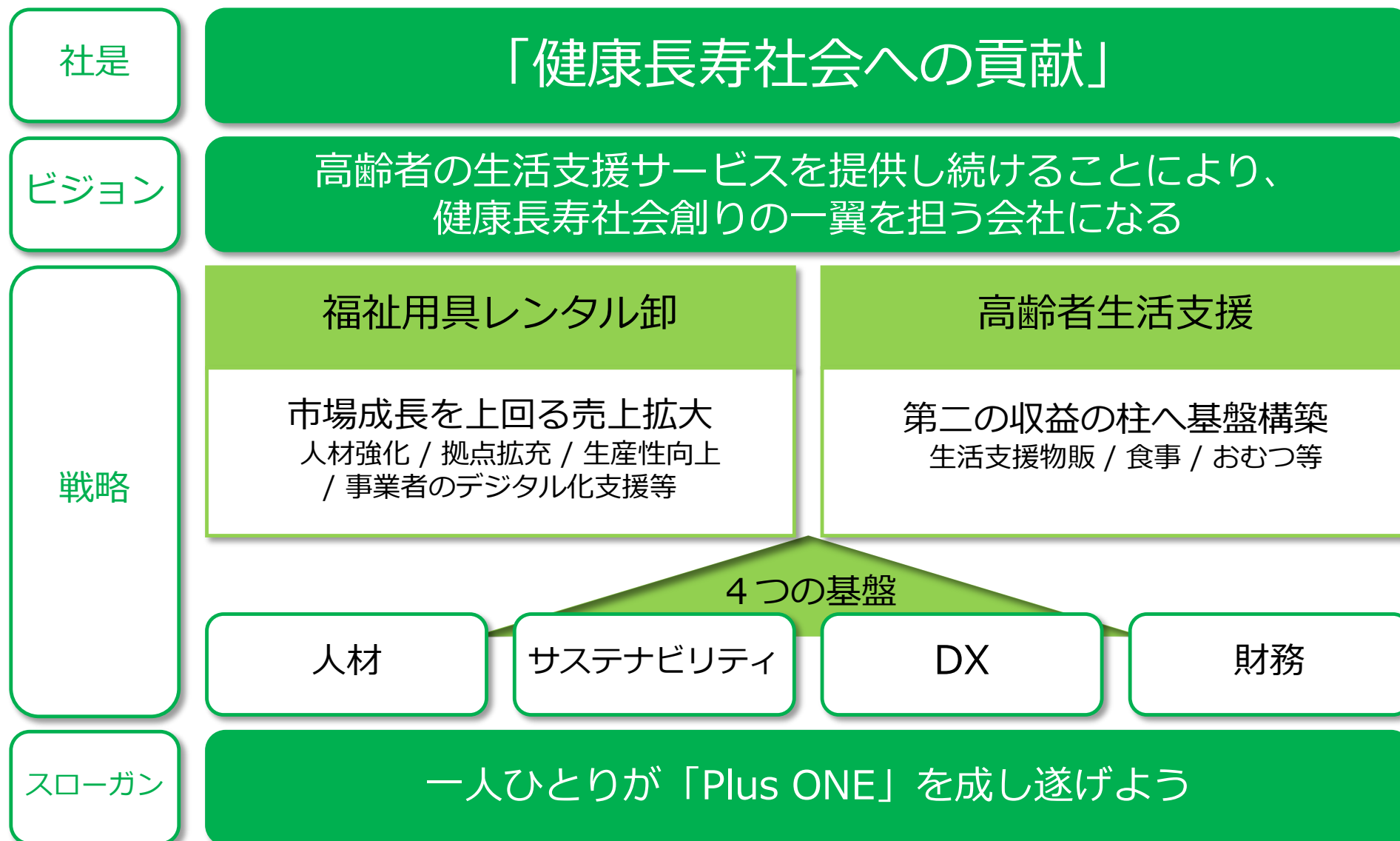
(百万円)

	2025年3月期 通期業績予想※1	2025年3月期 第2四半期実績	予想比 進捗率
売上高	31,500	15,673	49.8%
営業利益	2,500	1,151	46.1%
経常利益	2,500	1,170	46.8%
純利益※2	1,800	776	43.1%
1株当たり 当期純利益(円)	115.85	49.98	—

※1：業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします

※2：親会社株主に帰属する当期純利益

<参考> 中期経営計画の概要 (2023年3月期～25年3月期)



基本戦略

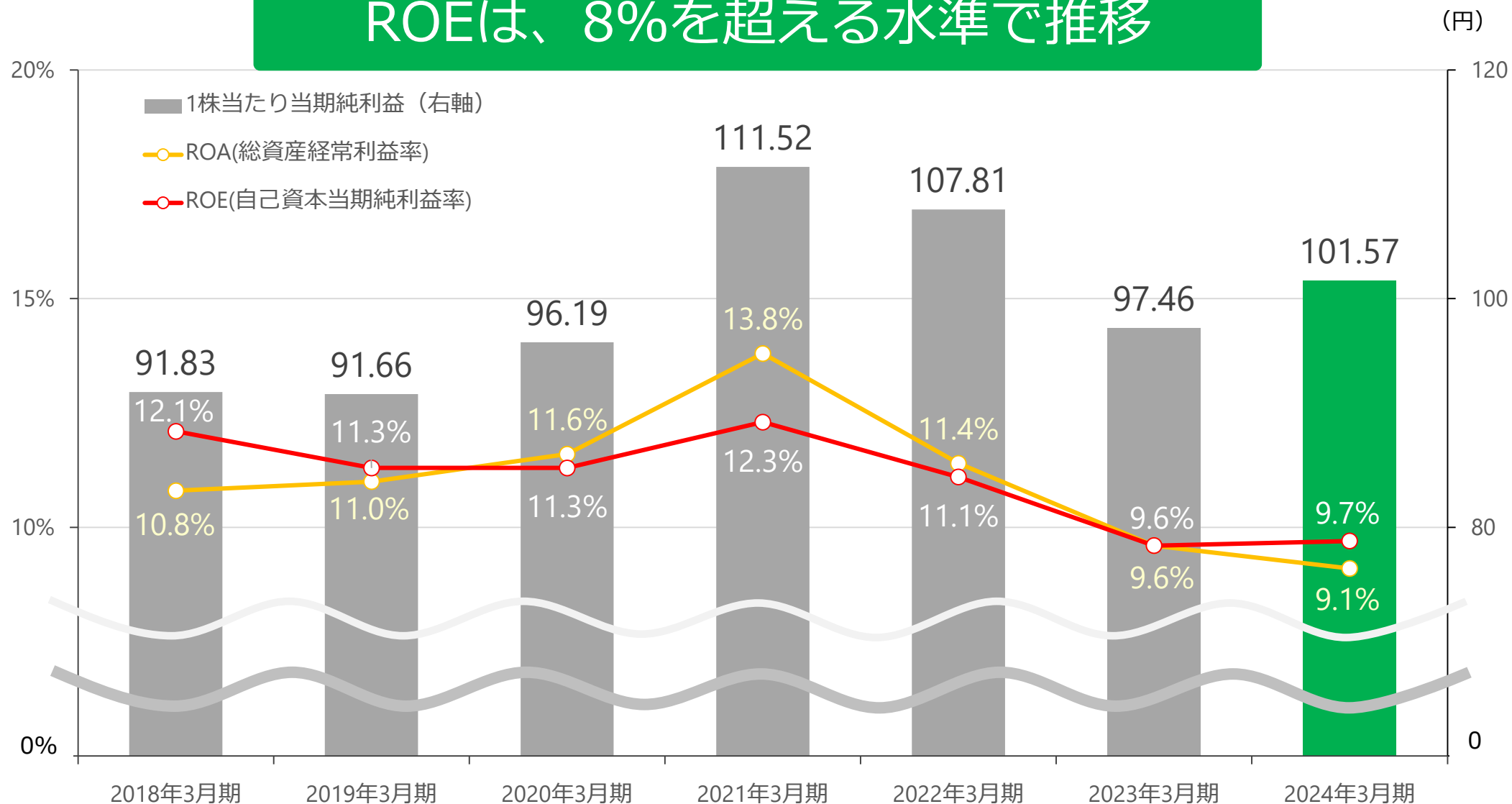
- 福祉用具サービス：市場成長を上回る売上拡大
- 高齢者生活支援サービス：第二の収益の柱へ基盤構築

重点施策

- ① 福祉用具サービス
 - ・ 在宅高齢者のニーズを捉えた商品展開や当社オリジナル商品の投入
 - ・ 都市部を中心とした営業拠点の新設・倉庫面積を拡大した移設
- ② 高齢者生活支援サービス
 - ・ 生活支援物販：ECサイトの利便性の向上や差別化の強化
 - ・ 食事サービス：販売チャネルの拡大や商品ラインアップの拡充
 - ・ 介護事業者向けサービスや在宅高齢者向け生活支援サービスの拡充
- ③ 経営基盤の強化
 - ・ 人材の積極的な登用と計画的な育成、ダイバーシティや働き方改革の推進
- ④ DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
 - ・ デジタルを活用した社内の生産性向上
 - ・ 介護業界DXの推進
- ⑤ サステナビリティへの貢献
 - ・ 持続可能な社会に寄与
 - ・ 健康長寿社会創りの一翼を担うとともに、社会課題の解決に貢献

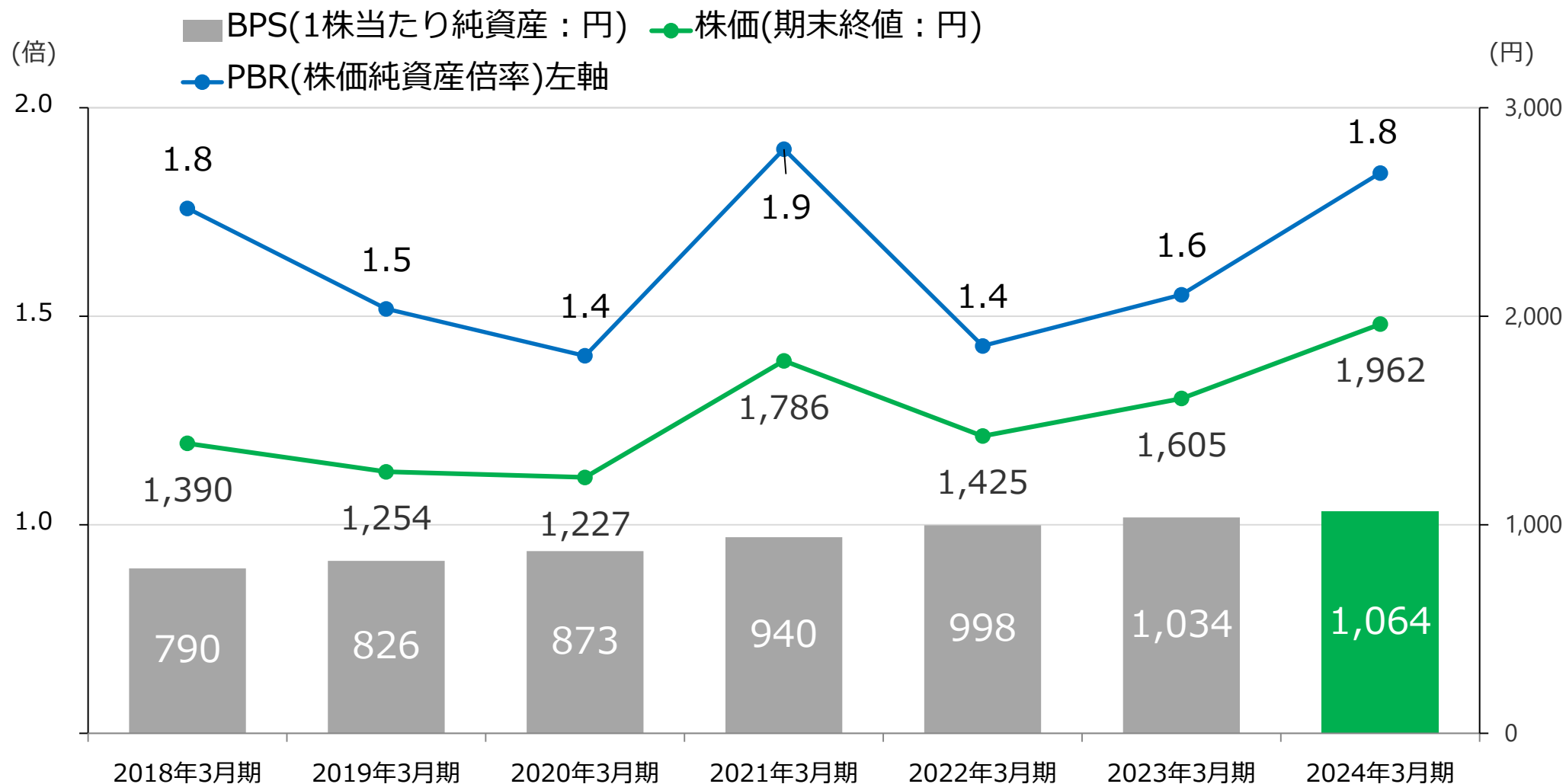
<参考> 経営指標の推移

ROEは、8%を超える水準で推移



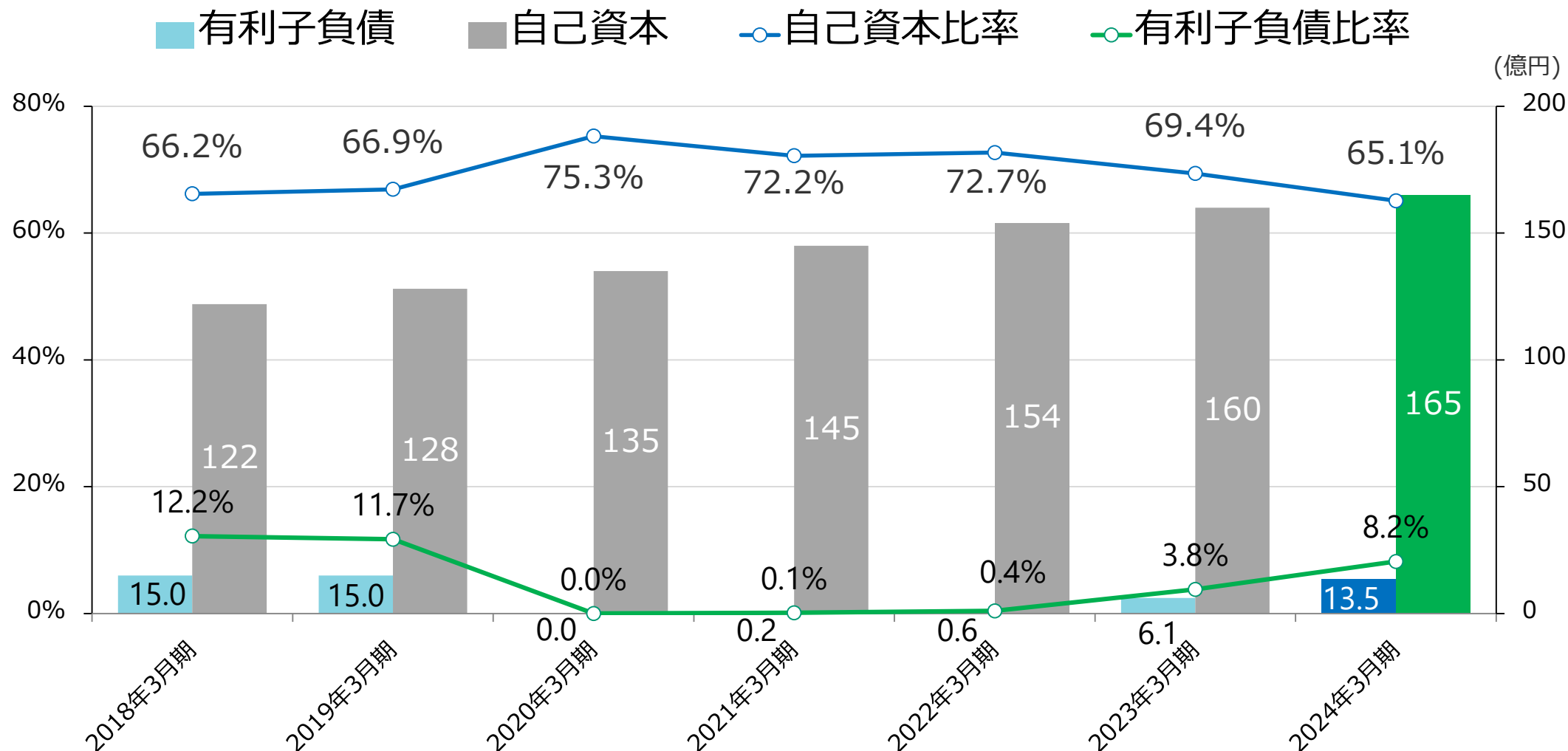
<参考> PBR・BPS・株価の推移

・BPSは、利益の積み上がりにより増加傾向を維持



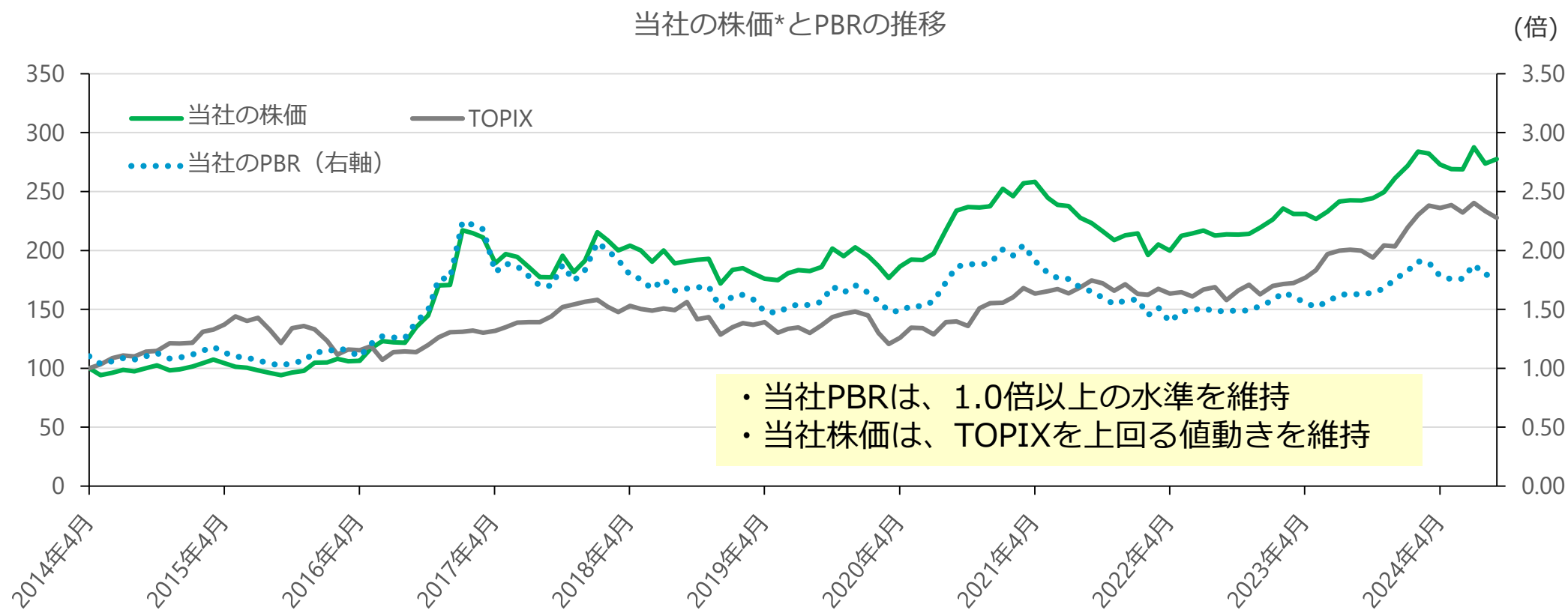
<参考> 自己資本比率・有利子負債比率の推移

- ・自己資本比率は、60%以上を維持
- ・有利子負債は、短期借入金の高が微増



<参考> 株価に関連した指標の推移

	2015年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
当社の期末株価（円）	746	736	1,466	1,390	1,254	1,227	1,786	1,425	1,605	1,962
期末TOPIX	1,543.11	1,347.20	1,512.60	1,716.30	1,591.64	1,403.04	1,954.00	1,946.40	2,003.50	2,768.62
当社の期末PBR（倍）	1.18	1.15	2.18	1.92	1.58	1.48	2.05	1.52	1.61	1.90



*当社の株価とTOPIXは、2014年4月を「100」として指数化

<参考> 循環型のビジネスモデル (福祉用具レンタル卸)

当社が手掛ける福祉用具レンタル卸事業は、介護保険の対象となるベッド、車いす等の福祉用具を地域の「福祉用具貸与事業者」（以下、事業者）にレンタルし、さらに「事業者」が「利用者」に貸出します。使用後返却された福祉用具は、当社が洗浄・消毒、検品・修理して、再び「事業者」に貸出すリサイクルシステムです。

資源を有効利用する循環型のビジネスモデルであり、当社が先駆けとなってこの仕組みを確立しました。



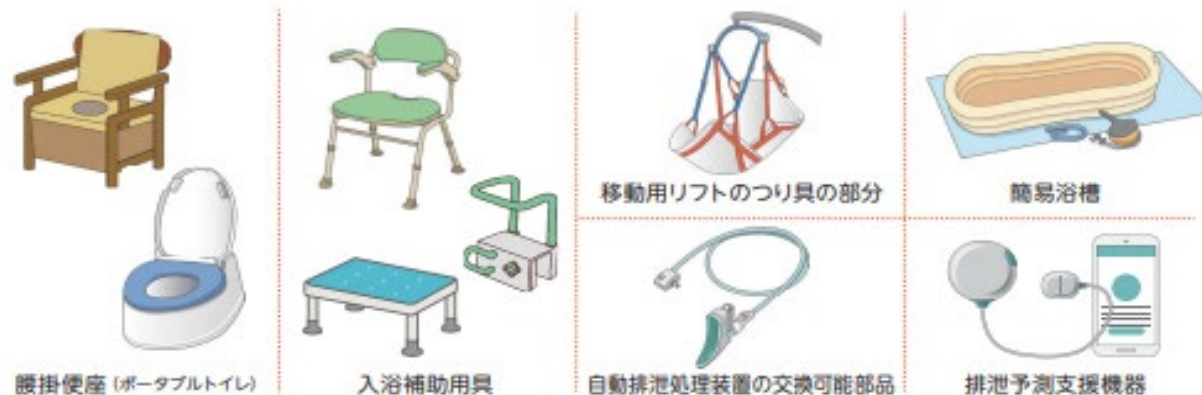
<参考> 介護保険対象の福祉用具



介護保険で レンタルできる 福祉用具13種目

2024年4月からレンタル対象の福祉用具のうち3種目（スロープ・歩行器・歩行補助杖の一部）でレンタル・購入の選択制を導入

介護保険で 購入できる 福祉用具6種目



▲介護保険対象の福祉用具イメージ図

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものでありリスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本ケアサプライ
経営企画室 IR担当
TEL 03-5733-0381

健康長寿社会への貢献